

宜野湾高校の全学年

—「今」が見える

●学校での友人関係は上手くいっていますか
思うもしくは少し思うと答えたのは



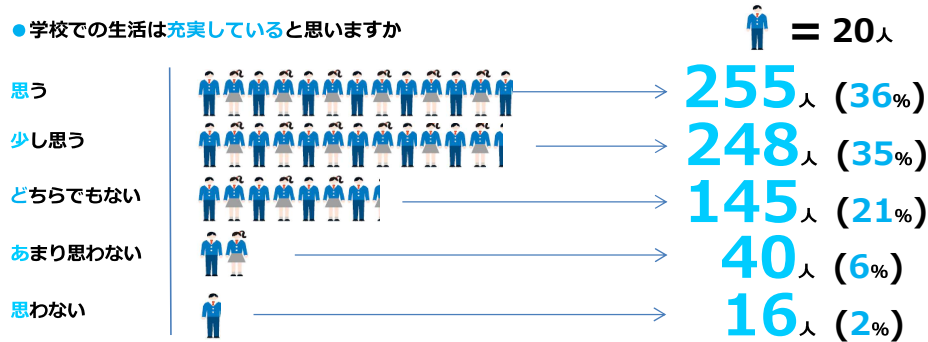
これから宜野湾高校の生徒たちが社会に出て、他の人と何か一つの作業を行うことやその過程で相手の立場になって物事を考える能力など、人間関係を構築させる方法を身につけておく必要性は高くなると考えられています。

●学校での授業を熱心に受けているか



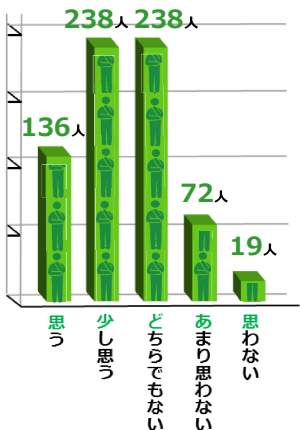
授業の熱心度を上げる方法の一つとして考えられているのが、自己肯定感を上げる事と言われています。問題が解ける、先生に褒めてもらえるなど「どうせ自分にはできない」から「自分でやってみようと思える気持ち」をこれからの学校生活で体験できれば数値は向上していくと考えられます。

●学校での生活は充実していると思いますか



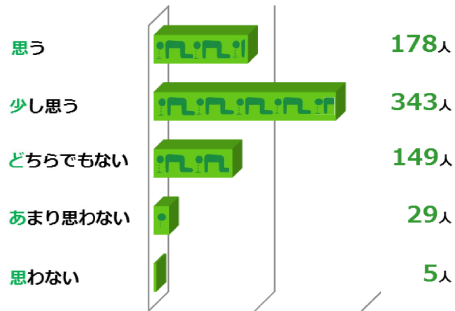
宜野湾高校の7割以上の生徒が学校生活の充実度に関して肯定的な回答をしています。アンケートの集計結果には新1年生も含まれているので、今後学校生活に慣れていく過程で、充実度に関しても肯定的な回答が増えていくと見込まれます。

●学校での行事は積極的に参加していると思いますか



今年度の学校行事に関しても、球技大会や舞台祭、リーダー研修、平和教育映画鑑賞等、数多くの行事を予定しています。一つひとつの行事に対して、しっかり目的があって実施しているものになりますので、生徒たち自身が目的をしっかりと理解できれば積極性も高まっていくと考えられます。

●何か問題が起こった時には次に同じような事が起きないように工夫していると思いますか

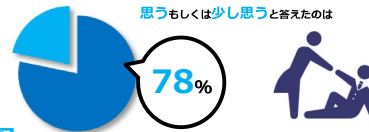


内閣府が公表しているアンケートには、うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組んでいますかという質問に対する結果を日本・韓国・アメリカ・イギリスなど計7か国「国別」で公表しています。ただ日本は7か国の中で最下位の結果で、諸外国と比べて、うまくいくかわからない事に対して意欲的に取り組むという意識が低いという結果も出ています。

DATA2017

最新TOPICS

●他の人と一緒に何かををするときは周りの人と力を合わせるということが意識できていると思いますか
思うもしくは少し思うと答えたのは



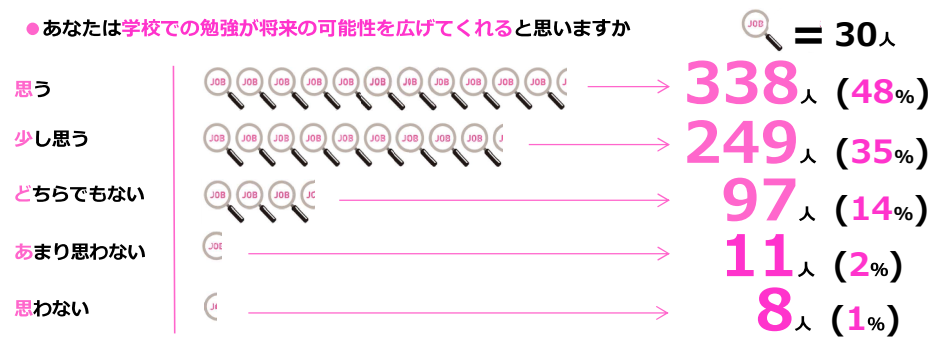
周りの人と力を合わせるという意識に関して約8割の生徒が肯定的な回答をしています。将来、社会に出て会社という組織の中で仕事をしていくのであればなおのこと、協調性はとても大切な能力になります。

●あなたは勉強するの意欲について自分なりの考えを持っていると思いますか
思うと答えたのは



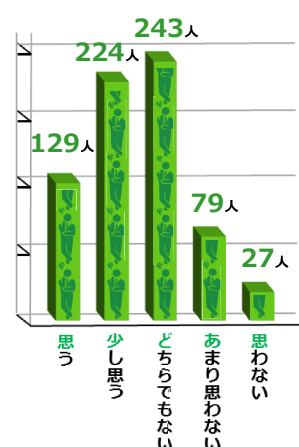
勉強するの意欲に関して、生徒たちだけではなく、宜野湾高校の職員に対しても「なぜ学ぶ」というタイトルで職員研修を実施しています。学ぶ意味について、様々な切り口で生徒へアプローチできるように、職員同士が考えを共有しあい、指導の幅を広げています。

●あなたは学校での勉強が将来の可能性を広げてくれると思いますか



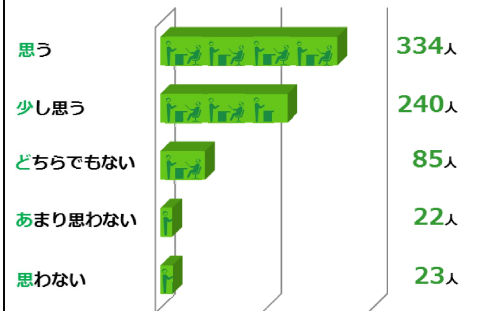
学校での勉強が将来に繋がっていることは8割以上の生徒が認識しています。また社会に出た大人に対して、高校時代にもっと勉強しておけばよかった...と後悔したことはありますか?という質問に対して「はい」と答えた人が6割以上という結果もスタディサプリから公表されています。

●自分には良い所があると思いますか



「自分自身に長所があるか」という質問に対する回答をアメリカ・フランス・ドイツ・スウェーデン・韓国と比較すると日本が一番低いという結果が内閣府が発表した国際比較調査(2014年度版)に公表されています。自己肯定感を高めることは、自分に自信が持てる要素に繋がる大事な部分だと言われています。

●働くことはお金以外にも得るものがあると思いますか



厚生労働省が出していた「働く人の意識と就業行動」についての統計を見ると20代から30代まではお金を得るために働くという回答する人が多く、年齢が上がるごとに「生きがいを見つける」ことに考え方が変わっていきます。なぜ学ぶと同様に「なぜ働く」のかについてもお金を稼ぐことの意味を深めつつ、働く理由についても考えることは、大切かもしれません。